

「リサーチ & プランニング」 第一回 イン트로ダクション

デジタルハリウッド大学

橋本大也

本日の内容

- イン트로ダクション(30分)
 - 今日の講義は予告編とウォーミングアップ
 - 本格開始は次回から
- 「情報とは」を考えるWGセッション(30分)
- そして「情報とは」総括と質疑応答(30分)

講義の内容

現代はインターネットとPCの普及により膨大な情報に誰でも自由にアクセスできるようになった。だが、ネットワークからデータ、情報、知識、知恵を引き出す情報処理能力を持つ人材はまだ少ない。本講義では、デジタルデータとネットワークを活用し、リサーチ及びプランニングプロセスの知的生産性と創造性を高める方法論を講義する。個人、組織の情報処理プロセスに関する大学や研究機関の理論、企業ケースを参考にしながら、実際にビジネスの現場で実用的な情報収集、整理、活用の体系化されたメソッド、ツールの利用ノウハウを教える。主題となるテーマは、オンラインマーケティング、ナレッジマネジメント、知識インタラクション、検索技術など。

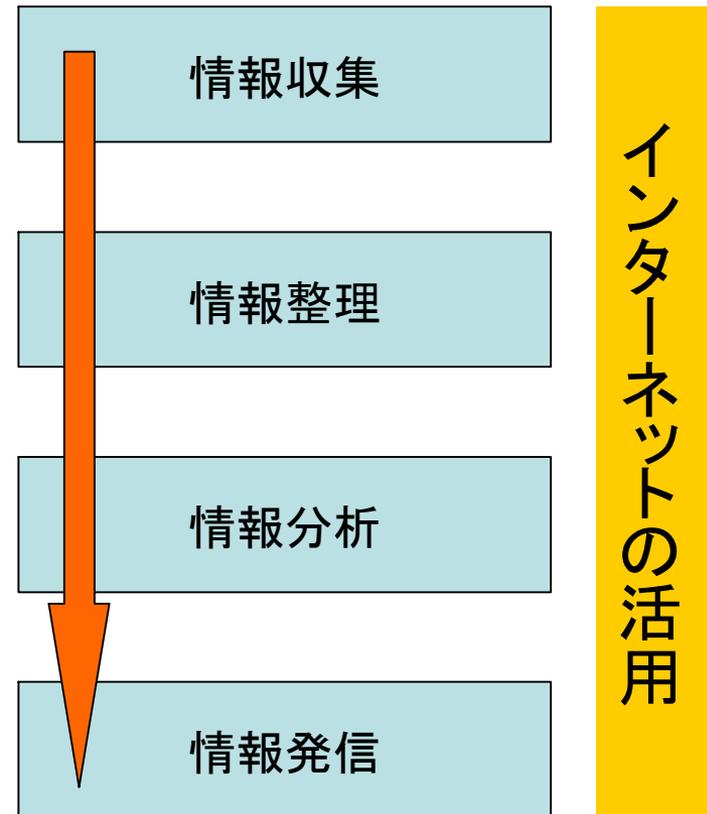
以上、硬いタテマエ

養成したいのは

- 「インターネットを使いこなす情報通、事情通」
 - そのための
 - 理論
 - ノウハウ
 - ツール
- を研究するのがこの授業

アツメル、ナラベル、ヒキダス、カキダスの4つのリサーチ能力の開発

- アツメル
 - 情報を収集する
- ナラベル
 - 情報を整理する
- ヒキダス
 - 情報を分析する
- カキダス
 - 情報を発信する



リサーチのワークフロー図

なぜインターネットを重視するのか？

ネットリサーチの5つの優位性

- **RealTime**
 - リアルタイムな情報が入手できる
- **Raw-Data**
 - 消費者、関係者の生の声が聞ける
- **Low-Cost**
 - 短時間、低コストで情報を入手できる
- **Deep-Mining**
 - 分析ツールを使って情報を高度に分析・加工できる
- **Interactive**
 - インタラクティブなリサーチが可能

簡単に自己紹介

- MIXIの自己紹介ページ
- 学生時代にしてきたことと皆さんへのススメ
- 受講生はMIXIに入りましょう

質問：あなたにとって情報とは？

- 私にとって情報とは「 40字 」です。
- 5分間で40字の今のあなたの答えを書く
- 4人のワーキンググループで各自発表する
- グループの意見をまとめて発表する

「情報とは」総括

- 正解はありません
- 最終回でもういちど同じ質問をします
- あなたにとっての「情報とは」、その答えを今後の授業で考えましょう。
- 著名な専門家の意見を回答例として示します。

回答例：情報とは通信量である

- シヤノン・ウィーバーの「通信理論」
- 二人は大手通信会社の研究者
- 回線を流れるBitデータ量を情報量と定義した
- ナローバンドよりもブロードバンドの方が情報量が多い

- 古典的な理論だが...本当だろうか。

回答例：情報とは生命情報だ

- 「それによって生物がパターンをつくりだすパターン」
(a pattern by which a living thing generates patterns)
- 生きている、感じている、考えている人間が織り成すパターンが情報だという考え方
- 西垣通（基礎情報学、2004）

回答例：情報とは知識構造を変える

《ブルックスの方程式》

$$K[S] + \Delta I = K[S + \Delta S]_{+}$$

情報とは「メッセージの受け手の知識に変化を及ぼすモノ」である。

足し算ではない、増えない
「それは情報ではない」リチャードSノーマン

回答例：情報とは不確かかの削減

シャノン、ウィーバー1984

「コミュニケーションの数学的理論」の中で、「情報とは受け手が「不確かなものを削減する」ものであると定義

回答例：情報に対して行った作業量

- したがって、メッセージの価値は、その情報量（絶対に予測可能な部分）や歴然とした冗長性（同じ言葉の繰り返しや数字の登場頻度の偏り）にあるのではなく、むしろ隠れた冗長性とでも言うべきもの、すなわち予測可能だが、予測には必ず困難が伴う、という部分に備わっていると思われる。言い換えるなら、メッセージの価値とは、その発信者が行ったであろう数学的作業あるいはその他の作業の量であり、それはまたメッセージの受信者が繰り返さずにすむ作業の量でもある
- チャールズベネット、論理深度の理論、1990

回答例：捨てた情報の量である

- そのメッセージを作り出すまでにいかに手間をかけたか
- 大量の情報を調べた結果、考えに考えて絞り込んだメッセージこそ価値がある
- 「情報とは<外>情報の量である」
- ノーレット・ランダーシュ（「ユーザイリユージョン」）

本日のまとめ

- シラバスの第一回内容説明から確認的に
- 「デジタルとネットワークを使ったりサーチ & プランニングの考え方を俯瞰する。知識とは何かの研究理論の紹介。情報処理のフローを大きく4つのプロセスにわけ(情報収集、情報整理、情報分析、文書化)効果的に”使える”を作り出すアプローチを説明する。」